

平成 23 年度 学校経営計画書

学校番号	61	学校名	静岡県立相良高等学校	校長名	土井 弘子
------	----	-----	------------	-----	-------

1 目指す学校像

本校は「新しい時代の担い手となるべき自覚と気迫を持ち、たくましい実力を備え、かつ、高い知識と豊かな情操を身につけた青年を育成する。」を教育目標に掲げ、地域に貢献する有為な人材を育成することにより、地域に愛され、信頼される学校づくりを目指している。

- (1) 学校の中に生徒一人一人が活躍できる場を提供し、きめ細かな指導によりそれぞれの個性・能力を伸長させ、各自の進路希望の実現を図る。
- (2) 普通科・商業科の併置校としての特色を活かし、地域に貢献する有為な人材を育成する。

2 中期的目標

(1) 基礎学力の定着と学ぶ意欲の向上

学習環境を整え、生徒自らが学ぼうとする態度を育てる。教科毎に到達目標に向けて授業改善を行い、生徒の関心・意欲を高めるとともに、個に応じた学力の伸長を図る。

(2) 基本的生活習慣の確立と社会性の涵養

高校生として相応しい身だしなみ、時間励行、規則の遵守、適切な言葉遣いやマナーを心がける生徒を育て、社会人としての基礎を身に付ける。

(3) 豊かな心の育成

生命を大切にし、お互いの個性を尊重し合うとともに、良好な人間関係を築くことのできる健康で感性豊かな生徒を育てる。

(4) 進路指導の充実

3年間を見通したキャリア教育を推進し、多様な進路希望に対応するための体制を整え、生徒一人一人を生かす進路実現を図る。

(5) 学校行事の充実と部活動の活性化

特別活動及び部活動において生徒が活躍できる環境を作り、個性・能力の伸長を図る。

(6) 機能的な学校組織の確立

地域に開かれた学校として積極的に情報を発信するとともに、時代や地域の要請に対応できる学校体制を確立する。

(7) 安全で安心な教育環境の整備

防災・防犯に関する地域との連携を推進するとともに、危機管理体制を強化する。

3 今年度の重点目標（学校経営目標）と方策

(1) 授業を大切にし、学力の向上を図る。

ア 各科目の到達目標を明確にし、1時間毎の授業の位置づけを意識して、着実な学力の定着を図る。また、生徒が興味・関心を持って取り組める授業づくりに励む。

イ 家庭学習等、学習の習慣化を図る。

ウ 少人数授業、習熟度別学習集団、TT授業、放課後補習等、個に応じた指導を行う。

エ 新学習指導要領に従い、教職員の共通理解の下で教育課程を編成する。

(数値目標)

- ・「授業がわかる」と答える生徒の割合を70%以上とする。
- ・教員1人あたり、授業公開を年2回以上、他教員の授業評価を年2回以上行う。
- ・生徒による授業評価をすべての授業集団で年1回以上行う。

(2) 社会性及び責任感のある生徒を育成する。

ア 時間や規則を守るように働きかける。

イ 制服の着こなし、あいさつ、適切な言葉遣いについて、ばらつきのない指導を行う。

ウ 生徒会活動、委員会活動、部活動等で生徒が活躍できるよう支援する。

エ HR活動を充実し、社会道徳を養う。

オ ものを大切にする習慣をつけ、美しい学習環境を整える。

(数値目標)

・出席率 99%以上、遅刻者数を 1 日 6 人以内にする。

・「学校生活に満足している」と答える生徒の割合を 55%以上とする。

(3) 組織的な取組により進路希望の実現を図る。

ア キャリア教育 3 年間の流れを見直し、職業観・勤労観の効果的な育成を図る。

イ 外部テストのデータを分析し、進学体制を整える。

ウ 職場開拓を推進し、求人数の確保に努める。

エ 生徒・保護者に対して早期に適切な情報提供を行う。

(数値目標)

・「決定した自分の進路に満足している」と答える 3 年生の割合を 80%以上とする。

・年度内の就職内定率を 100%とする。

(4) 学校行事や社会体験を通じ、豊かな心を育成する。

ア 朝読書、人権教育、WY S H教育等をとおし、心身ともに健康で、他者を尊重し命を大切にすることを育む。

イ 清掃やボランティア活動を推奨する。

ウ 保護者との連携を強化する。

エ 広報活動により、地域からの理解を得る。

(数値目標)

・P T A総会への出席率 50%以上、地区会への出席率 90%以上とする。

(5) 安全で安心な教育環境を整える。

ア 防災体制を整備する。

イ 観察、連絡、速やかな対処を行う。

ウ 外部からの訪問者の動線を明確にする。

(数値目標)

・月に 1 回以上校舎内外の安全点検を行う。